

実感

理解

実践

ごみとリサイクル

～ごみに関するクイズなどをおしてリサイクルを学ぶ～

講義

見学

体験



ごみ収集車を持ち込んでの授業の様子 帯広小 (R4.6.28)



座学の様子 啓北小 (R3.9.14)

ねらい

身近なごみの問題に、主体的に関わり行動する実践力を身につける

学校・家庭での役割を認識する



場所 各小学校

季節 ・ごみ収集車の持ち込みはおおむね6～10月
・座学は通年

人数 クラス学年 40人

所要時間 45分

対象 小3～小4

申込期限 ・ごみ収集車の持ち込みはおびひろ市民学を優先
・座学は1か月前

連絡先

帯広市 都市環境部 環境室 清掃事業課
電話:0155-37-2311(直通) FAX:0155-37-2313
E-mail: clean@city.obihiro.hokkaido.jp
〒080-2464 帯広市西24条北4丁目1番地

実感

理解

実践

関連単元
【例】

学年	科目・領域等	内容
小学校<中学年>	社会	○ごみの処理と利用
小学校<高学年>	社会	○公害と国民の健康・生活環境
	家庭	○環境に配慮した生活の工夫
小学校、中学校	総合学習	—

ながれ

導入 (10分)

○清掃事業課の仕事について紹介します
○ごみとはどのようなものかについて、質問を交えながらお話しします



ごみのゆくえって……？

展開 (25分)

○ごみの種類や分別について、具体例を示しながら紹介します
○ごみのゆくえについて、クイズを交えながらお話しします
○ごみ収集車の種類や仕組み、安全作業についてお話しします



ごみの分別とは……？

まとめ (10分)

○ごみの減量について、自分たちに何ができるか考えます

参加者コメント

豊成小学校4年生のみなさんより(R4)
○このペンきょうで、ぶんべつをきょうりょくしたいとおもいました。
○今日から、ゴミをちゃんとリサイクルしたり、ゴミを教えてくれたように分別したいです。
○ひごころからごみをへらすと言ういで生活していきたいです。

持ち物

○筆記用具、屋外であれば帽子 など。

特記事項

○ごみ収集車を持ち込んでの授業はおおむね6～10月に実施可能です。
・屋外での実施に限ります。大型車両1台分のスペースが必要です。
・雨天時は、日程・場所・内容の変更など、調整させていただきます。
・収集体験は実施しません。
【注意】ごみ収集の状況によっては、急遽ごみ収集車を持ち込んでの授業が出来なくなる場合があります。
ごみ収集業務の安定的な実施にご理解ご協力をお願いいたします。
○座学は通年実施可能です。
・パワーポイントを使用して授業を行います。
・ソーシャルディスタンスを確保出来る教室、パソコン、プロジェクターとスクリーン(またはモニター)、マイク、長机などのご用意をお願いします。

このプログラムを活用した方へのオススメ！プログラム

- 【実践】9 エコフレンド(環境課)
- 【実感・理解】13 エコバッグ作り(環境課)